都市再生整備計画（第4回変更）

福岡市西部地域地区

福岡県　福岡市

平成21年　3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	地区名	福岡市西部地域地区	面積	781 ha

計画期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度

目標

大目標 ： **～ 「九州大学」という新たな"宝"を活かした 福岡市西部地域の新たな拠点形成 ～**

目標１ ： 大学新キャンパス整備を契機とした都市機能の高質化と各種交流機会の創出により、賑わいのある新たな地域拠点の形成をめざす。
目標２ ： 九州大学の知的財産を活用した産学連携強化により、知の交流・創造活動を促進し、新技術・新産業の創出をめざす。
目標３ ： 各種都市機能の充実による生活利便性の増大、安全で快適なコミュニティ形成等により、計画地区における定住促進をめざす。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

○本地区は、福岡市の都心から西約15kmに位置し、海、山、田園景観など、豊かな自然環境に恵まれた地区である。
○一方、現在、福岡市内に分散立地している九州大学が、元岡・桑原地区(福岡市西区と前原市、志摩町にまたがる丘陵地)に統合移転することとなった。
○平成17年10月の第１期開校時には学生・教職員合わせて約2,100人が移転。最終的には約１万5,600人が新キャンパス(伊都キャンパス)に移動する予定である。
○本地区は、市の新・基本計画で新たな拠点地域と位置づけられており、平成１３年６月に策定された「九州大学学術研究都市構想」を踏まえ、九州大学の統合移転を契機に、地元産学官による新たな学術研究都市づくりが進んでいる。
○具体的には、大学の新キャンパスの整備に加え、関連する道路網整備や土地区画整理事業による宅地開発が進行中であり、学生や教職員などによる人口増加が予想されている。
○平成１７年９月には、大学の第１期移転に合わせ、本地区の玄関口としてJR新駅（九大学研都市駅)が開設された。

課題

「九州大学」という新たな”宝(強み)”を如何に活かして地域の活性化、本市における新たな拠点地域の形成に繋げるかが最大の課題である。

①本地区が市の新たな拠点地域となるべく、人・モノ・情報等などの交流機能や地域住民・大学関係者及び来訪者が憩える場の整備を図り、まちの賑わいを創出していく必要がある。
②九州大学では、研究・教育機能の充実、世界との交流などの面で先導的な取り組みが計画されており、こうした知的財産を有効に活用し、新技術・新産業の創出を図るため、産学の連携を一層強化する必要がある。
③地域が有する豊かな自然や自立したコミュニティを活かしつつ、生活基盤の充実により、安全で快適な定住環境を創出する必要がある。
④本地区への円滑な交通アクセス確保、大学キャンパス～今宿・周船寺地区間及び今宿・周船寺地区内移動の円滑化などに向け、各種交通基盤の整備充実を図る必要がある。

将来ビジョン（中長期）

[福岡市　新・基本計画(全市編)：平成15年3月](目標年次：2015年)
『自由かっ達で人輝く自治都市・福岡をめざして　～九州、そしてアジアの中で～』を新しい福岡づくりの基本方向とし、多核連携型都市づくりを推進
◆今宿・周船寺：地域拠点
土地区画整理事業やJR新駅の開設を契機に、西部地域の新たな核として、また、学術研究都市の玄関口として、交通結節機能の強化や地域交流センターの整備、商業機能の充実をめざす。
◆西部地域(九州大学～今宿・周船寺)：新たな拠点地域
九州大学を核とした学術・研究機能が集積し、学生や教職員、民間企業を含めた研究者などが、豊かな自然環境のなかで新たな知を創造し、発信する学術研究都市づくりを進め、今宿・周船寺地区との連携を図りながら、本市西部地域における新たな拠点地域の形成をめざす。
[福岡市　新・基本計画(西区基本計画)：平成15年3月](目標年次：2015年)
～三つの宝「自然」「市民」「大学」で～　1．美しい水が"循環"し、　2．ぬくもりのある心が"交歓"し、　3．魅力ある町に"転換"する　を将来像とし、主要プロジェクトとして
①「タウン・オン・キャンパス」の展開・・・学術研究都市の"顔""シンボル"として、研究開発、国際交流、地域との連携や居住などの多様な機能の導入
②拠点間の連携強化・・・今宿・周船寺につながるアクセス道路整備、JR新駅の設置
③新たな市街地の形成・・・伊都土地区画整理事業によるアメニティ空間の創出、及び学術研究都市の玄関口として交通結節機能の強化や商業機能の充実、田尻土地区画整理事業による大学関係者などの居住地形成
[福岡市都市計画マスタープラン(西区版)](目標年次：2010年)
○JR新駅を中心とした地区を準地域中心核と位置づけ、地域交流センター等の複合施設や行政サービス、商業等の機能が集積した西部地域の拠点としている。
○今宿・周船寺地区～九州大学新キャンパス間については、農業・集落ゾーン、低層住宅ゾーン、さらに学園通沿道についてはプロジェクトと連携しながら将来像を検討するゾーンと位置づけている。
[九州大学学術研究都市構想：平成13年6月]
福岡市から唐津市に至る玄海灘に面するゾーンを対象エリアに、「知の創造空間」の構築に向け2つの核となる戦略で構成
◆ソフト戦略　：『知の交流・創造活動を促進する地域科学技術システムの構築』
◆ハード戦略　：『知・住・悠の舞台となる快適空間の形成』

目標を定量化する指標

指　標	単 位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅利用者数	人／日	JR九大学研都市駅の利用者数	新駅周辺における都市機能の集積、および各種交流機会の創出により、地区の玄関口である駅利用者が増加する。	約1,000人／日	平成１７年度	約3,100人／日	平成22年度
産学連携交流センターの入居率	%	産学連携交流センター(仮称)の入居率	大学キャンパスの移転作業及び先進的な学術研究の進展に伴い、産学連携強化の意義・必要性が高まることにより、産学連携交流センターの利用が活発化する。	―	平成１７年度	60%	平成22年度
人口の定着	人	従前(H17)と従後(H22)における地区内人口比較	各種都市基盤整備に伴う生活利便性の増大、安全で快適なコミュニティ形成により地区の定住魅力が高まり、計画地区内の人口が増加する。	22,900人	平成１７年度	24,600人	平成22年度
まちの魅力度	―	事後のアンケート調査等に基づく、従前と比較した計画地区の魅力向上への意識	各種整備計画の一体的推進により、従前と比較して、「計画地区の魅力が高まった」と感じる人の割合を5割以上と見込む。	―	平成１７年度	50%	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針１　：　大学新キャンパス整備を契機とした都市機能の高質化と各種交流機会の創出による賑わいのある新たな地域拠点の形成 ・市民が集い、活動できる場として、コミュニティ機能を主体とした複合的な機能を有する地域交流センターを整備する。 ・西部地域の新たな拠点として、都市基盤や交通結節機能の整備、良好な住宅地の供給のため、計画的な市街地整備を行う。 ・九州大学と地域社会との連携・交流を促進し、大学の社会貢献を促すことにより、市民生活の質の向上を図る。	・高次都市施設（基幹事業/地域交流センター） ・地域生活基盤施設（基幹事業/地域交流センター） ・地域創造支援事業（提案事業/産学連携交流センター） ・伊都土地区画整理事業（基幹事業・関連事業） ・田尻土地区画整理事業（関連事業） ・大学と地域の連携・交流促進事業（関連事業）
整備方針２　：　九州大学の知的財産を活用した産学連携強化による知の交流・創造活動促進及び新技術・新産業の創出 ・産学連携のまちづくり、企業・研究機能の立地促進に向け、活力ある新たな学術研究都市づくりの一環として先導的施設の整備を行う。 ・最先端分野における九州大学の知的財産を活用し、産学の連携交流を促進することにより、研究開発機能の高度化や新たな産業・技術の創出を図る。 ・広報や啓発活動、人材育成など産学官の連携を強化・支援することにより、本地区のPR，情報発信機能を高める。	・地域創造支援事業（提案事業/産学連携交流センター） ・産学官連携支援活動（関連事業）
整備方針３　：　各種都市機能の充実に伴う生活利便性の増大、安全で快適なコミュニティ形成等による定住促進 ・地域資源を活かしつつ、各種都市機能の整備・充実により、生活利便性を高め、地区の定住魅力を高める。 ・本地区へのアクセス向上、及び地区内移動の円滑化に向け、道路整備や交通結節施設を整備する。 ・地域防災計画に避難所として位置づける予定の地域交流センターを整備する。 ・安全で快適な居住環境の向上のため、地元主体の各種まちづくり活動を支援する。	・河川（基幹事業/総合流域防災事業） ・高質空間形成施設（基幹事業/バスシェルター、遊歩道、自然観察路） ・地域生活基盤施設（基幹事業/地域交流センター） ・高次都市施設（基幹事業/地域交流センター） ・街路事業（基幹事業/今宿駅周辺街路） ・伊都土地区画整理事業（基幹事業・関連事業） ・田尻土地区画整理事業（関連事業） ・道路事業（関連事業/主要地方道福岡志摩線ほか） ・都市基盤河川改修事業（関連事業/水崎川、周船寺川） ・地元まちづくり活動支援（関連事業/元岡、田尻地区）

その他

平成13年6月　：　九州大学学術研究都市構想の策定
平成16年6月　：　地域再生計画の認定

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	9,048.3	交付限度額	3,797.0	国費率	0.42

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路	街路事業	今宿駅周辺街路	福岡市	直	749m	H9	H21	H18	H21	2,903.0	475.0	475.0	0.0	475.0
公園														
河川	総合流域防災事業	田尻川	福岡市	直	排水能力13m^3/s	H17	H22	H18	H22	1,136.0	1,136.0	1,136.0	0.0	1,136.0
下水道														
駐車場有効利用システム		―			―									
地域生活基盤施設	地域防災施設	―	福岡市	直	―	H18	H21	H18	H21	2,352.6	2,352.6	2,352.6	0.0	2,352.6
高質空間形成施設		伊都土地区画整理事業区域内、江の口川、水崎川	福岡市	直	ﾊﾞｽｼｪﾙﾀｰ1箇所、遊歩道750m、自然観察路1000m	H18	H22	H18	H22	281.0	281.0	281.0	0.0	281.0
高次都市施設		―	福岡市	直	―	H18	H21	H18	H21	1,201.1	1,201.1	1,201.1	0.0	1,201.1
既存建造物活用事業		―			―									
土地区画整理事業		伊都土地区画整理事業	福岡市	直	130.4ha	H9	H25	H19	H22	2,500.0	2,500.0	2,500.0	0.0	2,500.0
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										10,373.7	7,945.7	7,945.7	0.0	7,945.7 …A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業														
	産学連携交流センター	元岡地区	福岡市	直	2,400㎡	H18	H21	H18	H21	1,098.6	1,098.6	1,098.6	0.0	1,098.6
														0.0
事業活用調査	まちの魅力度調査（事後調査）	―	福岡市	直	1回	H22	H22	H22	H22	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0
		―			―									0.0
まちづくり活動推進事業		―			―									0.0
		―			―									0.0
合計										1,102.6	1,102.6	1,102.6	0.0	1,102.6 …B
													合計(A+B)	9,048.3

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○）直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
伊都土地区画整理事業	西区徳永・女原・今宿地区等	福岡市	国土交通省	130.4ha		○			H9	H25	36,800
田尻土地区画整理事業	西区田尻・泉地区	福岡市田尻土地区画整理組合	国土交通省	40.4ha		○			H11	H18	7,201
道路事業	主要地方道福岡志摩線ほか	福岡市	国土交通省	3,240m		○			H13	H21	11,710
都市基盤河川改修事業	水崎川、周船寺川	福岡市	国土交通省・県	8,390m		○			H10	H27	24,823
産学官連携支援活動（広報・啓発・人材育成）	計画地区全体	福岡市	直	776ha			○		H10	継続的に実施	
地元まちづくり活動支援	田尻地区	福岡市	直	27.3ha			○		H16	H21	6
地元まちづくり活動支援	元岡地区	福岡市	直	16.3ha			○		H9	H21	13
大学と地域の連携・交流促進事業	計画地区全体	福岡市	直	776ha			○		H10	継続的に実施	
合計											80,553